

羽村市小中一貫教育

～義務教育9年間を通じた一貫教育を目指して～

小中一貫教育は、義務教育9年間を通して、児童・生徒一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばすことができる、きめ細かな教育を実現しようとするものです。今までは小学校6年間、中学校3年間で分けて考えていましたが小学校と中学校の指導をつなげたものとする新たな教育をつくりあげていきます。

小中一貫教育により期待される効果

中学校1年生の不登の解消
（「中1ギャップ」の解消）

学力の向上

いじめや不登校の減少

個性や能力の一層の伸長

豊かな人間性や社会性の育成

9年間の子どもの姿

児童・生徒の発達段階に応じた指導を効果的に行うため、義務教育9年間で前期・中期・後期に区分し、各指導区分のねらいを設定し重点的に指導します。

※学習や生活の場（校舎）や入学式・卒業式、制服の着用等は従来通りです。

前期（小学校1年生から4年生）は、基礎をしっかりと身に付ける時期。
学校でのきまり、学習の仕方などを含め4年間で、中期で活用できるようにしっかりと身に付けさせます。

中期（小学校5年生から中学校1年生）は、前期で学んだ基礎をもとに自ら学ぶ力を身に付ける時期。
小学校から中学校へステップアップするために自立的な学習ができるようにしていきます。

後期（中学校2年生から中学校3年生）は、前期・中期で身に付けた力を様々な形で活かす時期。
大きく広がる世界で力を発揮できるようにしていきます。

義務教育9年間を見通した滑らかな指導内容

羽村市の児童・生徒の実態に合わせて、各教科等で育てたい力を明らかにし、指導区分ごとの重点に基づいた基本カリキュラムを作成しました。この基本カリキュラムをもとに、義務教育9年間の指導内容に系統性をもたせ、継続した指導を行っていきます。

英語コーディネーター・学習コーディネーターの配置

小中一貫教育の指導体制の充実のために英語コーディネーターと学習コーディネーターを各校区に1名ずつ配置します。

英語コーディネーターは英語教育のカリキュラムに沿って外国人講師（ALT）を導入し、小学校の英語活動と中学校の英語科を効果的につなぎ、授業の質を高めるアドバイスをします。

学習コーディネーターは羽村学（郷土学習）と人間学（キャリア教育）のカリキュラムに沿って地域の人材の発掘や導入、授業の際のアドバイスをします。

つなごう∞育てよう∞いっしょに

羽村市独自の特色ある教育内容



小学校2年生



中学校1年生

羽村学 (郷土学習)



羽村市総合防災訓練

人間学 (キャリア教育)

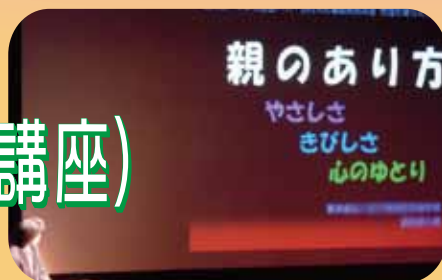


昔遊び



親学

(家庭教育講座)



親学 (家庭教育講座)